

令和6年度当初予算（案）の概要

神 崎 町

～ 一般会計 33億2,500万円 前年度比0.5%増 ～

1. 当初予算のポイント

予算規模

- 令和6年度一般会計当初予算（案）の総額は、33億2,500万円で、前年度比0.5%（1,500万円）の増となりました。
- これは、道の駅改修事業や町道成田神崎線整備事業の継続に加え、会計年度任用職員の勤勉手当支給等の人件費の増や自治体情報システムの標準化・共通化等に係る委託料の増などが主な要因です。

予算編成方針

- 「神崎町第5次総合計画・前期基本計画」の着実な推進を図るため、実施計画への事業計上を前提にそれに伴う財政推計を予算編成の指針とし、事業の効果、優先度、重要性を十分検討すること
 - 計画推進の継続性が重要であることから、確保できる財源に応じた予算規模とすること
 - 新型コロナウイルス感染症の5類移行後初年度となる予算編成にあたり、今より一步でも前へ、町民が希望のある将来を描けるよう、職員自身がわくわくする予算を目指すこと
- を基本的な考え方として、令和6年度当初予算を編成しました。

予算の特徴

限られた財源の中でも『まちの活性化』と『子育て支援』に重点的に配分し、

- ◇ 神崎PA（仮称）の整備に合わせた道の駅改修事業
- ◇ 町道成田神崎線を始めとする町道整備・改良事業
- ◇ 子育て世帯に対する支援の継続

などの予算を計上しました。

2. 歳入予算

〔歳入内訳〕		(前年度比)
町 税	6 7 7, 2 0 3 千円	(△ 1.6%)
地方譲与税	2 9, 8 0 0 千円	(+ 1.4%)
各種交付金	1 9 9, 5 1 0 千円	(+ 6.3%)
地方交付税	1, 0 3 5, 0 0 0 千円	(+ 0.1%)
分担金・負担金, 使用料・手数料	2 7, 6 1 6 千円	(+ 15.5%)
国庫支出金	4 4 9, 9 3 6 千円	(+ 10.8%)
県支出金	1 6 6, 5 7 2 千円	(+ 1.8%)
繰入金	3 5 8, 3 4 1 千円	(△ 21.3%)
(うち財政調整基金繰入金)	301,119 千円	△ 12.2%)
町 債	1 8 4, 8 0 0 千円	(+ 32.6%)
(うち臨時財政対策債)	6,100 千円	△ 61.9%)
そ の 他	1 9 6, 2 2 2 千円	(+ 7.5%)

〔主な増減要因〕

- ① 町税は、5年度の実績に基づき算定し、国の定額減税により住民税の減収が見込まれることから、全体で1,079万8千円の減を見込みました。なお、歳入総額に占める町税の割合は20.4%です。
- ② 各種交付金のうち、地方特例交付金については、定額減税による町税の減収分が地方特例交付金にて補填されるため、2,500万円の増を見込みました。
- ③ 地方交付税は、5年度実績に基づき100万円の増となりました。
- ④ 国庫支出金は、自治体情報システムの標準化・共通化に係るデジタル基盤改革支援補助金や地方創生臨時交付金が増加するため、4,400万7千円の増となっています。
- ⑤ 県支出金は、オーガニック推進事業に係る「みどりの食料システム戦略緊急対策交付金」などの増により、288万8千円の増となりました。
- ⑥ 寄附金は、5年度実績に基づき、ふるさと寄附金の寄附額の増を見込んで、1,000万円の増となりました。
- ⑦ 繰入金は、道の駅改修事業の年度割事業費の減により、財政調整基金などからの繰入が9,711万5千円の減となりました。
- ⑧ 町債は、臨時財政対策債のほか、道の駅改修事業債や神崎川護岸整備事業債等の借入額が増加することにより、4,540万円の増となっています。

3. 歳出予算

〔歳出内訳〕		(前年度比)
議 会 費	4 8, 1 1 8 千円	(+ 0.5%)
総 務 費	6 4 6, 0 6 4 千円	(+ 21.1%)
民 生 費	8 8 7, 9 5 0 千円	(+ 5.7%)
衛 生 費	2 6 2, 9 7 3 千円	(△ 1.4%)
農林水産業費	1 6 2, 5 7 6 千円	(+ 5.1%)
商 工 費	1 3, 9 4 6 千円	(△ 89.4%)
土 木 費	6 7 0, 5 3 9 千円	(△ 1.6%)
消 防 費	1 5 5, 0 8 9 千円	(+ 2.1%)
教 育 費	2 7 4, 5 9 8 千円	(△ 1.5%)
公 債 費	1 8 8, 1 2 4 千円	(△ 9.7%)
そ の 他	1 5, 0 2 3 千円	(0.0%)

4. 主な新規事業・主要事業 (●は重点事業)

① 議会費		
・議会インターネット配信事業【新規】		164 千円
② 総務費		
・アナログ規制の点検・見直し業務【新規】		3,630 千円
●ふるさと寄附金事業		10,000 千円
・高速バス PR 広告事業【新規】		770 千円
●町制 70 周年記念町勢要覧作成業務【新規】		4,455 千円
・LINE 公式アカウント運用事業【新規】		1,758 千円
・総合計画及び総合戦略策定業務【新規】		6,054 千円
・公共無線 LAN (Wi-Fi) 整備事業		544 千円
・移住・定住者支援事業		9,174 千円
・JR 下総神崎駅周辺管理事業 (看板設置工事等)【新規】		2,035 千円
●神崎ふれあいプラザ空調機器改修工事【新規】		53,870 千円
・千葉県知事選挙執行事業		5,538 千円
③ 民生費		
●福祉タクシー利用助成事業		5,406 千円
・敬老祝品贈呈事業		3,116 千円
・障害者自立支援給付事業		119,882 千円

・子育て支援費給付事業	2,680 千円
・子育て応援事業（こども商品券）【新規】	19,770 千円
・出産・子育て応援事業	3,286 千円
●子育て支援拠点事業	3,574 千円
④ 衛生費	
・子ども医療費助成事業	16,822 千円
・健康相談ダイヤル24事業	1,395 千円
・ごみ分別促進アプリ導入事業【新規】	542 千円
・住宅用設備等脱炭素化促進事業【新規】	730 千円
⑤ 農林水産業費	
●担い手育成支援事業（スマート農業等）	2,400 千円
・新規就農支援事業	1,508 千円
●オーガニック推進事業【新規】	2,365 千円
・水田自給力向上対策事業	40,672 千円
⑥ 商工費	
・観光ガイドブック電子書籍版配信事業【新規】	660 千円
・観光行事運営事業（酒蔵まつり、河川敷祭りほか）	4,499 千円
●発酵文化振興事業	1,383 千円
⑦ 土木費	
・町道維持管理事業	32,102 千円
●町道成田神崎線道路整備事業	167,742 千円
●町道神宿松崎線道路改良事業	33,347 千円
●町道毛成堀籠線道路改良事業	51,157 千円
●道の駅改修事業（土木工事）	277,883 千円
・空き家等実態把握調査事業【新規】	5,603 千円
・木造住宅耐震診断及び改修費助成事業	1,080 千円
・住宅リフォーム費助成事業	2,100 千円
●準用河川神崎川護岸（右岸）整備事業【新規】	69,300 千円
⑧ 消防費	
・小型動力ポンプ積載車更新事業【新規】	6,779 千円
・小型動力ポンプ更新事業【新規】	1,870 千円
・自主防災組織助成事業	200 千円
⑨ 教育費	
・ICT支援事業（電子黒板の活用によるデジタル化の促進）	1,650 千円
●体育・スポーツ振興事業	5,994 千円
・ウォークラリー事業【新規】	200 千円
●学校給食費助成事業（完全無償化）	

5. 引上げ分の地方消費税交付金の使途

消費税率引上げによる増収分は全額、社会保障費の財源としています。

【歳入】 地方消費税交付金（社会保障財源分） 71,000 千円

【歳出】 社会保障施策に要する経費 712,376 千円

【社会保障施策に要する経費】

(単位：千円)

区 分	経 費	財 源 内 訳		
		国県支出金	その他特定財源	一般財源
社会福祉（高齢者福祉・障害者福祉・児童福祉など）	411,822	166,389	12,043	233,390
社会保険（国保・介護保険・後期高齢者医療など）	244,602	40,677	2,102	201,823
保健衛生（母子保健・疾病予防・健康増進対策など）	55,952	9,951	240	45,761
合 計	712,376	217,017	14,385	480,974

一般財源のうち地方消費税交付金 (71,000)

差し引き (409,974)

6. 特別会計・公営企業会計

国民健康保険事業特別会計 7億2,300万円 前年度比1,000万円(1.4%)減
うち保険給付費 5億1,087万5千円

介護保険事業特別会計 6億9,900万円 前年度比1,430万円(2.1%)増
うち保険給付費 6億5,880万円

後期高齢者医療特別会計 1億220万円 前年度比520万円(5.4%)増
うち後期高齢者医療広域連合納付金 9,586万9千円

水道事業会計 収益的収入 2億2,273万8千円
支出 2億1,723万7千円
資本的収入 145万5千円
支出 6,276万3千円